



新世紀松崎三聖塾夏季宿泊体験学習（7/24～28）

町内の小学5年生38人が参加して、三聖会堂を拠点に座禅や  
ひもの作りなどさまざまな自然体験活動が行われました。

# 補正予算の概要

八月七日（金）に開催された町議会第三回臨時会において、二億四百五十万七千円を追加した一般会計補正予算が可決されました。

今回の補正予算は、国の経済危機対策として、地方公共団体に一兆円の地域活性化・経済危機対策臨時交付金が交付されるのを受けて、当町への交付予定額約一億四千八百万円を財源としたものです。

この交付金は、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安心安全の実現、その他将来に向けた地域の実情を積極的に実施できるよう交付されるものです。

事業選択に当たっては、これまでで寄せられている地域要望等を参考に、十八事業、約一億七千万円の予算計上をいたしました。

主な事業内容は次のとおりですが、交付金の活用にあたっては、地域活性化の観点から、できるだけ地域内の受注

機会が生まれるよう配慮してまいります。

今回の補正予算で、計上された主な事業は、次のとおりです。 ※（ ）は予算額

## 高圧受変電設備移設事業

現在、役場ピロティ（一階駐車場）部分に設置されている高圧受変電設備を、水害や津波による浸水被害から守るため、現在の設置場所より高くて安全な場所へ移設します。（二百六十万円）

## 町道改良事業

伏倉線や江奈桜田線など町道五路線について、防護柵設置や側溝改良の工事等を行います。（二千五百万円）

## 小中学校グラウンド整備事業

松崎小学校と松崎中学校のグラウンドについて、砂の敷き均しや散水施設設置など必要な整備を行います。（二千五百万円）

## 小中学校・幼稚園デジタル機器購入事業

各教室に大型デジタルテレ

ビを設置するとともに、電子黒板や教職員用パソコンを購入します。（一千八百万円）  
橋梁耐震（長寿命化）対策事業

生活道路となつている町内十八カ所の橋の耐震化を進めるため、点検調査及び補強計画策定の業務を行います。（一千万円）

## 安全区画線整備事業

学校管内の道路において、児童・生徒の交通安全確保のため安全区画線の整備を行います。（七百万円）

## 町道等管理委託事業

町道や林道、農道について、側溝の土等の除去や危険木の伐採を行います。（五百万円）

## 商店街環境改善事業

商店街の街路灯の電球を省エネタイプのものへ交換するとともに、イベント用コンセントの設置や既存の行灯の補修を行います。（四百万円）

## 遊休農地対策事業

遊休農地に繁茂している葎等の雑草除去のため、乗用草刈機と集草機を購入します。（百五十万円）

## 【問合せ】

総務課（42） 3963

## 「第三十三回オール伊豆少年野球学童部大会」 松崎野球スポーツ少年団が優勝！

八月五日（水）、伊東市鎌田の市営かどの球場で、伊豆全域から三十八チームが出場した「第三十三回オール伊豆少年野球学童部大会」の準決勝、決勝戦が行われました。

準決勝では、六回表まで大池ジュニア（伊東市）にリードされていましたが、その裏の攻撃で四番打者の鈴木留佳君（五年生）が二点本塁打を放ち逆転し、決勝進出を決めました。

決勝戦では、小林大真君（六年生）、鴻野大雅君（五年生）、佐藤駿君（六年生）が本塁打を放つなど打線が爆発し、八幡野イーグルス（伊東市）を破って初優勝を果たしました。

松崎野球スポーツ少年団は、九月六日（日）に藤枝市で行われる「Z会旗」静岡県大会など、今後も、さまざまな大会に出場します。

毎週末の午前中には、総合グラウンドで練習を行っていますので、皆さまの応援をよろしく願います。



### 準決勝戦

大池ジュニア	1	0	0	0	0	1	0	2
松崎	0	0	1	0	0	2	×	3

### 決勝戦

松崎	5	0	1	0	6	5	0	17
八幡野イーグルス	0	0	0	1	0	5	0	6

# 第32回 花壇コンクール

## 第17回 街角の花コンクール

8月10日(月)に審査が行われ、『花壇』は昨年に続き伏倉常盤会が、『街角の花』は平野さんが参加4年目にして初の最優秀賞に輝きました。



最優秀賞 常盤会 (伏倉)

**花壇**コンクールは、花いっぱい運動の推進や住民の手によるふるさとづくりの推進、花壇づくりを通しての地域コミュニティの推進を目的に昭和五十四年から行われ、今年で三十二回目となりました。

審査は、参加した二十一団体の花壇を一日かけて回り、取り組み度、努力度、創意工夫度、技術度の四項目を採点しました。

【最優秀賞】  
常盤会 (伏倉)

【優秀賞】  
東友会 (東区)  
睦会 (桜田)



最優秀賞 平野清子さん (桜田)

**街角の花**コンクールは、団体だけでなく、個人や事業所の花壇やプランターなどについても評価する機会を設け、花いっぱい運動の更なる推進を図ろうと行われているもので、今年は六人の参加がありました。

審査は、花壇コンクールと同日に行われ、取り組みの様子や工夫していることなどについて採点しました。

【最優秀賞】  
平野清子さん (桜田)

【優秀賞】  
石田 宏さん (北区)  
山本善雄さん (指川)

【問合せ】  
企画観光課 (42) 3964

### 三聖塾夏季宿泊体験学習

町内の小学校五年生が、七月二十四日から四泊五日の日程で、親元を離れ、「花の三聖苑」で合宿を行いました。

塾生は、「ふるさと松崎」をテーマとしたさまざまな活動を体験しました。それぞれの活動では、町内の方に講師を依頼し、指導を受けました。また、多くの方にボランティアとして協力していただくことも、本事業の大きな特徴です。

今年度となる今年度の活動の目玉は、漆喰の学習です。「松崎蔵つくり隊」代表の関賢助さんの講話と、光る泥だんご作りを通して、漆喰に触れ、左官職人の技術を身近で感じることができました。

今年度の修了生、三十八人を加え、九年間の修了生が三百人を超えました。過去の修了生が中高生の三聖塾サポーターとして、宿泊体験学習に戻ってきている姿に、三聖塾の歴史を感じることができました。

また、宿泊体験学習の期間中、三聖苑内への車の進入を制限させていただいたおかげで、雨天でもテントの中で活動することができました。皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。



三聖会堂にて



巨大泥だんご作りにも挑戦



## 松崎から帯広へ

齋藤幹人中川小学校校長を団長とした、小学生ら十四人が七月二十三日から二十五日まで帯広市を訪問しました。

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参りなどの他、パークゴルフやアイススケートで帯広の子どもたちと交流を深めました。

また、ジャガイモ掘りや搾乳体験など帯広ならではの有意義な体験学習をすることもできました。

この三日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れると共に、参加者にとってすばらしい夏の思い出をつくることができました。



帯広空港で



旧開智学校前で



ガイドの案内で上高地を散策

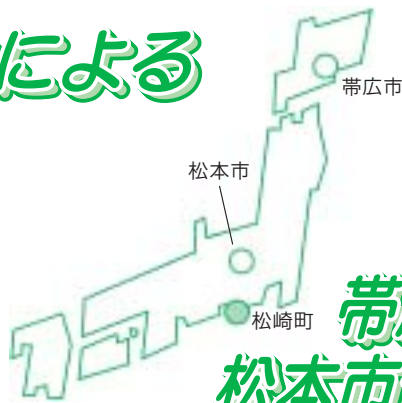
## 松崎から安曇へ

山崎和也松崎中学校校長を団長とした松崎中学校二年生の一行三十九人が八月十九日から二十一日まで松本市安曇地区（旧安曇村）を訪問し、歓迎を受けました。

一行は松本市到着後、重文岩科学校と姉妹館提携を結んでいる旧開智学校や松本城を見学しました。

翌日は、松本市自然ガイドの皆さまの案内で河童橋や明神池など上高地の雄大な自然を満喫し、午後からは安曇地区の中学生と交流会を行いました。交流会ではミニウォークラリーやゲームを行いながらお互いの親睦を深めました。

## 小・中学生による



岩地海岸で地引き網を体験

## 帯広市へ姉妹都市交流 松本市安曇地区へ地域交流

## 安曇から

松本市安曇地区（旧安曇村）の中学生ら十六人が八月二日から四日までの三日間の日程で来町しました。

一行は、役場を表敬訪問した後、長八美術館や重文岩科学校など町内の文化施設を見学しました。

訪問中は好天にも恵まれ、岩地海岸では地引き網や海水浴を楽しみ、午後からは松崎海岸で松崎中学校二年生と交流会を行いました。

交流会では、両市町の中学生混合チームによるドッジボールや、カヌーの試乗などを楽しんでお互いの交流を深めました。

## 帯広から

帯広市子供親善訪問団の小



勉三翁の生家を見学

学生ら十二人が八月五日から七日までの三日間、松崎町を訪れました。

一行は、役場を表敬訪問した後、重文岩科学校や長八美術館などを見学しました。中でも、依田勉三翁にゆかりのある三余塾資料館や、大沢温泉ホテル訪問では、勉三翁の話に熱心に耳を傾けていました。

その後、松崎の子どもたちとカヌーの試乗や海水浴を行い、夜はミニホームステイでお互いの交流を深めるなど、楽しい夏休みの思い出をつくることができました。

## 【問合せ】

教育委員会（42） 3971

# 自然体験学習

教育委員会では、小学生や中学生を対象とした、松崎町ならではの豊かな自然に親しみ、健康で明るい子どもたちを育てるため、課外学習の場を提供しています。

## 松崎町みどりの少年団

松崎町みどりの少年団は、昭和五十五年四月に花とロマンのふるさとを愛し、自然に親しみ、心身共に健康で明るく、愛郷心にあふれた実践力のある人間形成を目的に設立されました。

二十九年目の本年度は小学校四年生から中学校一年生までの十一人が活動しています。年間を通して、季節に合わせた身近にある豊かなみどりを体験できるような活動を実施しています。牛原山での植樹活動、ハイキング、花壇ボランティア、静岡県緑の少年団交流集会（富士山周辺）への参加、キノコ植菌体験等、さまざまなプログラムで活動をしています。

また、夏には町のもうひとつの自然である海を利用した

海洋クラブとの合同カヌー体験も実施しています。



8月10日～11日 富士山交流集会

## B & G 松崎海洋クラブ

松崎海洋クラブは、昭和六十年八月に設立されました。子どもたちは海でのカヌー訓練を通し、豊かな自然を体験します。本年度は小学校五年生・六年生の十一人が活動しています。

五月末から八月にかけて、松崎海岸から萩谷海岸までの

カヌー訓練を実施し、毎年八月十六日には伊豆西海岸カヌー大会に参加しています。



カヌー訓練

また、カヌー訓練前の海岸清掃や、三月のB & Gグラウンドゴルフ大会への参加など、海洋以外でも活動しています。

その他、みどりの少年団と合同の活動として、二月にはスキー教室も実施しています。

来年度は、みどりの少年団結成三十周年、海洋クラブ結成二十五周年を迎えることになり、小中学生の皆さま、是非、松崎町ならではの体験の場として積極的な入団をお待ちしております。

### 【問合せ】

教育委員会（42）3971

## ボランティア活動の輪が広がります

# ボランティア活動の輪が広がります

松崎町ジュニアボランティアクラブは、中学生にボランティア活動の機会を提供し、ボランティア学習への理解を深めることを目的に、平成十四年度から活動を始めました。

一時間の活動を一単位とし、合計二十単位取得からボランティアクラブ四級、そして静岡県青少年指導者級認定初級指導者として認定されます。

ボランティアには、松崎海岸の清掃、幼・保育園での保育補助、各福祉施設における介助補助、イベント等のお手伝いなど、さまざまな活動があります。

中学生たちは、長期の休みや土日などの休日を利用して活動しています。

今後、協力をお願いしている各施設から募集がありますので、中学生たちは、積極的に参加してみましょ。

夏休み期間中の七月十八日から八月二十三日まで、毎朝六時から約一時間、「松崎の

海をきれいにしたい」という願いをもった中学生十二人が松崎海岸の清掃を行いました。

この活動から、近年では、近くに住む小学生や大人の方も清掃に参加してくれるようになりました。

地域の皆さまも、お時間が

ありましたら、活動に参加し、ボランティアの輪を広げましょう。

### 【問合せ】

教育委員会（42）3971



海岸清掃に参加した中学生（8月22日）

夏

ま

つ

り

### 花火大会

八月十五日(土)には、岩地、石部、雲見海岸で三海岸同時に花火大会が開催されました。

また、翌日の十六日(日)には、松崎海岸で花火大会が開催され、多くの行楽客や地元住民を楽しませました。

四海岸ともに、見物場所から近い距離で次々に打ち上げられる迫力満点の花火に歓声がわいていました。



### 灯ろう流し

八月十六日(日)、町の中心部を流れる那賀川のときわ大橋付近で、水難事故で亡くなった子どもや各家の先祖を慰霊する、灯ろう流しが行われました。

地元の子ども会や住民が持ち寄った約百五十個の灯ろうが、水面に放たれました。

川の兩岸や橋の上に集まった近隣に住む人たちや見物客たちは、流れる炎を見送り、先祖のめい福を祈りました。



### 無縁堂まつり

八月十六日(日)、中区公民館で、無縁堂まつり(エンマさん)が行われ、年に一度ご開帳される閻魔座像を拝むために、多くの人が訪れました。

この閻魔座像は、享保三(一七一八)年に大仏師法橋石見により造立された、高さ九五五の漆塗り寄木造りで十五の胎内仏を納めています。

無縁堂と呼ばれる由来は、海岸に流れ着いた、行き倒れの無縁仏を葬っていたことや、宝暦九(一七五九)年七月に池代地区で発生した山津波により押し流された死者を葬ったためと言われています。



## 松崎文芸

俳句

梅雨深き川の流れば音高く 糠床に新糠加え夏深む	山本武男
新涼やちびりちびりと一人酌む 放送もかき消す今朝の蝉しぐれ	稲葉文字
新涼の吊橋渡る野良帰り 登枝の子等の挨拶涼新た	小林一男
車道にも水打つ家や秋涼し 新涼に樟の走り根香りけり	稲葉菊恵
天城嶺の闇を深める月涼し 木もれ日や沢のしぶきに棲む小虹	依田ふじ枝
秋涼し心静める渚かな 新涼を風が連れ来る朝を待つ	佐藤享
秋涼しコーヒースこし濃く煎れて 新涼や海辺の町のコンサート	土屋規矩子
夏負けの午後をごろりと八畳間	夏目和子
	細矢金治
	山本一詞
	石田宏
	鈴木すみ江
	清水高子
	松田美智子
	斎藤みつ子

### 大地震に備え 日頃から家庭で 確認しましょう

8月11日(火)に発生した駿河湾地震では、松崎町も震度5強の揺れを観測しました。今後発生が予想される東海地震の被害を最小限に抑えるために、日頃から以下について家庭で準備をしましょう。

- ・家族が離ればなれになったときの連絡先や集合場所
- ・非常持ち出し品
- ・避難地、避難路
- ・住宅の耐震補強
- ・家具の固定

耐震補強や家具の固定には、補助制度もあります。詳しくは広報まつざき7月号をご覧ください。



# ～ まちのできごと ～



## 7/30 花とロマンソフトボール大会

総合グラウンドで、「花とロマンソフトボール大会」が開催されました。町内の13地区が参加し、トーナメント形式で熱戦を繰り広げた結果、船田チームが優勝しました。



## 8/5 図書館夏休み企画「切り紙教室」

図書館では、夏休み企画として「切り紙教室」を開催しました。参加者は、折り紙を好きな動物や魚の形に切り取り、円柱状の容器に貼り付け、鉛筆立てを作りました。



## 8/18・19 西豆イングリッシュサマーキャンプ

環境センターを会場に、西豆地域の中高生を対象とした「イングリッシュサマーキャンプ」が行われました。参加した中高生は、ゲームや寸劇を通して実践的な英会話を学びました。



## 8/14～31 松崎まゆ工房作品発表会

中瀬邸で、昨年機織教室を受講したメンバーを中心に結成された松崎まゆ工房が、今年作成した着尺やストールなどの展示や、来場者を対象に機織体験などを行いました。

## 集中豪雨について

今年の長梅雨は、全国各地に集中豪雨による被害を発生させています。松崎町でも、七月十七日に、時間雨量四十二ミリの集中豪雨が襲いました。

町内では、岩科地区や雲見地区で道路の路肩や人家裏山などで、崩土等による被害を受けました。

特に、雲見入谷地区では、道路下が崩落し、水道管を押し流し大破させてしまいました。幸いにも近隣住居での断水被害もなく、早急な被害復旧を行いました。

しかしながら、この崩土が太田川に流れ込み、川はもとより雲見湾内をも赤く濁らせました。その後の雨もあり、約一カ月にわたり、雲見湾の濁りは続きました。

夏の観光シーズンということもあり、雲見地区の観光への影響も大きか

## 町長室からこんにちは ⑨3

ただだろうと思います。また、那賀川、岩科川も同様に雨が降ると、昔に比べ、すぐ濁るようになったように思います。

昔は、森林を伐採し、用材としていたために、樹木の下に草が生え、土砂の流出を防止していたものが、近年では、木材価格の下落により、間伐すら行われず、樹間に光が差し込まないために草が生えず、山肌がむき出しになっていて森林が増え、少しい雨でも土砂が流出するようになったと考えられます。

このことから、河川上流部の森林整備を実施し、山を治めることが、川や海を守ることにつながるのではないかと考えた次第です。

松崎町長

深澤 進

# 21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

## 町の人口と世帯

(平成21年7月31日現在)  
( )内は前月比

総人口	8,129人 (+6人)
男	3,853人 (+6人)
女	4,276人 (±0人)
世帯数	3,153戸 (+2戸)
転入	20人
転出	15人
出生	4人
死亡	3人

## 町の交通事故

平成21年7月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	6件 (+3)
物損事故	8件 (-7)
死者	0人 (±0)
傷者	9人 (+6)

## 戸籍だより (7月届出分)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
雲見	鈴木とし	95	進一
松尾	菊池キヨ	84	肇
峰輪	萩原浩	69	恵

### おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
八木山	ゆに日	女	松岡俊介
岩地	たま珠子	女	齋藤秀雄
小杉原	めい彩果	女	桐山聡
伏倉	えいじろう瑛二郎	男	齋藤洋一

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

## 保健師だより

### 運動で脱メタボリック シンドローム!

内臓脂肪は食事で摂取したエネルギーと、運動で消費するエネルギーの差によって蓄積されるものです。

運動量を増やして消費エネルギーを多くすれば、内臓脂肪がたまりにくくなります。また、筋肉を動かすことにより、さらに血液中の糖分が筋肉に取り込まれるようになるので、血糖値が下がります。

中性脂肪も運動で消費され、HDLコレステロール値(善玉コレステロール)は増加します。つまり、運動によってメタボリックシンドロームの診断基準項目の改善も期待できます。

今月から特定健診の結果説明会が始まります。これを機に運動習慣の定着を目指しましょう。

### 80kcal(ごはん軽く茶わん半分)の消費量の目安(40歳代)

	男性 (体重60kg)	女性 (体重50kg)
普通歩行	41分	52分
急ぎ足	25分	31分
ジョギング	14分	18分
縄跳び	11分	14分
洗濯	72分	91分
掃除	51分	64分
草むしり	43分	54分

## 姉妹都市通信

帯広市から

### 帯広の森

### 屋内スピードスケート場

長野市について国内で二施設目になる「屋内スピードスケートリンク」が完成し、八月三十日にオープンセレモニーを開催しました。

帯広市は北海道の中でも、スピードスケート競技が盛んな地域です。各小学校の校庭では、十二月になるとグラウンドにスケートリンクをつくり、授業や休日の一般開放で三月上旬まで利用します。

また、さらに上を目指す子どもたちはスケート少年団に所属し、市のスケートリンク施設で練習や大会を行います。こうして、地域から実業団選手、さらにはオリンピック選手やメダリストを輩出してきました。

オープンするスピードスケート場は国際大会が開催できる規格の国内有数の施設です。七月中旬から三月上旬と夏場

を含め長期使用できることや世界レベルの選手の競技を間近で見られることで、選手のレベル向上やスケート競技の発展が期待できます。

スピードスケート競技以外にも、イベントやフットサル・テニスができるリンクに囲まれた中地広場やランニング走路を備えており、市民により有効に利用していただく設計を盛り込みました。

地域おこしや交流人口の拡大にもつなげていくよう、地域あげでの活用が期待されています。



建設中の施設内部